

スポーツ川崎

昭和61年1月1日発行
川崎市体育協会 広報紙
編集・発行
川崎市体育協会広報委員会
〒210
川崎市川崎区宮本町6番地
川崎市教育委員会体育課内
044-200-3312

より速く、より強く、より高く 第14号



あけましておめでとうございます

川崎市体育協会会長

川崎市長 伊藤三郎

希望に満ちた新春を市民の皆様方とともにお迎えできましたことを心からお慶び申し上げますとともに、皆様方のますますのご多幸とご健康を心からお祈りいたします。

昨年は、幸区に幸スポーツセンターがオープンし、地域スポーツセンターの幕開けとしてスタートいたしました。市民の健康増進・体力づくり、あるいは仲間づくりに大いに役立っていると思います。さらに北部地区にも同様なスポーツセンターを建設中であり、本年6月を目途にオープンする予定であります。このように体育施設が充実してまいりますと、川崎市体育協会の果たす役割もますます重要になってまいります。

また、今年で創立38周年をむかえ、加盟25種目がそれぞれの力を結集して、体育協会が一段と飛躍するよう努力する所存であります。

その第一段階として専門委員会を大幅に拡充し、それぞれの目標に向けて進める計画であり、市民参加を重点としたスポーツ教室等を増やして実施していく所存であります。

引き続き本年も皆様方の深いご理解と温かいご支援を賜りますよう、心からお願いし、年頭のご挨拶といたします。

1986年1月1日

◆ わかとり国体 ◆

第40回国民体育大会秋季大会観戦記

弓道成年女子本市代表チームが2種目優勝の偉業!

第40回国民体育大会秋季大会は、10月20日の鳥取県立布勢総合運動公園陸上競技場での開会式を皮切りに、25日までの6日間にわたり、鳥取県下26市町村において、全国47都道府県から20,177名の選手団を集め開催された。

総合成績は、秋季大会において15競技を制した地元鳥取県が、男女総合・女子総合ともに優勝し、天皇杯・皇后杯の両杯を獲得した。

本県からは462名の選手団が参加、本市関係では27競技に92名の選手が派遣された。

なかでも弓道成年女子の部で、本市弓道連盟所属の3選手が遠的・近的兩種目で優勝、見事にその責任を果たした。また、バレーボール少年男子の部でも法政第二高校が、堂々の優勝を飾った。

総合成績で本県は、天皇杯第7位、皇后杯は惜しくも入賞を逸し第9位となった。

また、川崎市体育協会では4名の役員を国体視察に派遣し、観戦のもようを記していただいた。



わかとり国体陸上競技場

鳥取国体開会式に参加して

川崎市中学校体育連盟

理事長 今井 厚

10月20日、1時10分「開会宣言」、ファンファーレで「わかとり国体」(鳥取)の開会式が始まった。

開会式に先立って行われたエキジビションでは、61万県民を代表する小・中・高校生をはじめ、家庭婦人を含めた若さあふれる集団演技が披露された。特に、郷土色豊かな因幡の傘踊りは、伝統的な色彩を施された傘を自在に操った踊りで、観衆の盛大な拍手をあげた。

開会式では、開会通告の後、役員選手団の入場が開始され、わが神奈川県選手団は約400人がライトブルーの地に白の曲線を入れ、カモメが舞う様子を表したユニフォーム姿で行進し、地元の観衆から拍手をあげた。

開会式後の集団演技では、幼稚園児2,000人による演技が好評であった。

パラシュート用の布を用いてドームを作ったり、ドームの中に入って出てくる時に、それまでかぶっていなかった色とりどりの帽子をかぶり四方に散っていく様子は、その可愛らしい動きと共に色の変化も見事であった。

3年間の準備期間を経過して、鳥取市を始め県下の町村で各種の競技を開催し、県民とのふれあいを深めることをねらいとした今回の運営には大変すばらしいものがあったし、また、その試みも成功したと思う。

わかとり国体に参加して

神奈川県弓道成年女子代表

秋山昌子
大木 緑
藤村紀子

鳥取で開かれた第40回国民体育大会弓道の部に出場し、遠的・近的の2種目に優勝、したがって種目別総合優勝も手にすることができました。2種目同時優勝は、40回の中でも数える程しかありません。ひとつタイトルを得た後のプレッシャーのかかった試合を耐えるのは大変なことです。

振り返ってみますと、チーム編成のよかったこと、また3人がそれぞれスタープレーヤーとしての実力を充分もっていて気持ちは一つにまとまっていたこと、適材適所で自己の責任をきちんと果たしたことが大きな勝因だと思います。私生活の一部も話し合える程の仲にならなければ信頼感も生まれません。強化練習、合宿等で親しみを増しながら、監督・コーチまた応援してくださった皆様の励ましの中で、徐々に徐々に優勝を意識し最高のコンディションにもっていくことができました。

しかし、試合は実力以外に運もあると思います。トーナメントでは、当方が悪い時は相手も悪かったりで捨てた試合もありました。

宿に帰っても、優勝の喜びをおいて反省点をあげるのに暇がなかった程です。横浜に帰って関係者の皆様からお祝いの言葉をたくさんいただいた時、本当にうれしさが込み上げてきました。

国体選手としてのこの1年間学び得た多くのものを糧としてこれからも精進していきたいと思っています。



国体弓道の部で見事2種目(遠的・近的)優勝した本市代表チーム。左から監督の橋本吉信、大木緑、藤村紀子、秋山昌子の各選手

体操成年女子無欲の 逆転初優勝!

川崎市体操協会
理事長 山本 十三二

体操競技は、10月21日～23日の3日間、鳥取県の米子市米子産業体育館で盛大に開催された。成績は、下馬評通り、成年女子が初優勝を成し遂げた。

成績と選手名は次の通りでありました。

○ 少年男子 4位

清野貴己、竹林広朗、藤田幹則(以上相工台付)、小河原慶太、菅井雄太郎(東海大相模) 佐藤俊也(日大藤沢)

○ 少年女子 3位

松浦奈穂子、中野久美(相工台付)、大野美雪、蟻坂道子(鶴見女子)、福島馨(旭)、垣屋久美子(荏田)

○ 成年男子 5位

鶴岡栄、本田守政(筑波大)、湯浅雄至(早稲田大)、小林隆(日大)

○ 成年女子 優勝

吉田多鶴子、酒井千穂子（東女体大）、伊藤純子（日体大）、森美穂子、森千恵子、木崎由美（朝日生命）

成年女子は、3年ぶりの出場であったが、地元鳥取県に逆転して初優勝をした。

規定で鳥取県1位、わが神奈川県は2位。ジンスクス通り地元でやられるのかと誰もが感じたに違いなかった。

ところが、自由演技が始まってみると規定1位の鳥取は、優勝を意識したのか段違い平行棒や平均台でミスを出し、浮き足だって点数が伸びない。

それに引換えわが神奈川県は、すべての演技を無難にこなし、じりじりと鳥取を追いつめ逆転に成功した。

昨年度、少年女子で優勝したときのメンバー森・木崎を中心にまとめ、精神的に落ち着いて演技ができたことが最大の勝因であろう。

● 鳥取国体、サッカー競技を視察して



川崎市サッカー協会
大野 真

今回の国体サッカー競技は、成年が岩美町、少年が米子市内と2会場で行われた。

成年の会場となった岩美町は、漁港もあり、夏は海水浴場として有名な所で大変美しい町である。試合の前日は、どこの県のチームも海岸でサンド・サッカー（砂浜サッカー）や思い思いのトレーニングをして試合への気分を高めていた。

日本リーグ二部へ昇格を果たした東邦チタニウムを主体に他2チームから補強した神奈川県代表チームは、1回戦で秋田県と対戦したが、

おしくも0対3で敗退した。秋田の気迫のこもった激しいサッカーに神奈川の持ち前の速い攻撃がつぶされたのがいたかった。

米子市内で行われた少年の部では、昨年の大会で優勝を果たした神奈川県代表は、関東予選で敗れ、本大会の出場ができなかった。つくづく選抜チームの力の持続の難しさを感じさせられる事実であるが、その中で毎年上位に入る静岡県代表チームは素晴らしい。個々の技術の高さは言うまでもなく、その技術の高さに溺れることなく、スピードのある展開をし、要所所で高い技術で局面の打開をはかる。言わば、世界のトップレベルのサッカーに近い戦術をめざしてチームがつくられているように感じられた。

その静岡県代表は、私の予想通り少年の部で優勝を果たした。サッカーにおいて、常に日本国内をリードしている静岡県の「世界のサッカー」を意識したチームづくりとその戦術は、高校サッカーの指導者の一人である私に大変大きな印象を残した。

今回、川崎市体育協会の派遣で国体を視察し、より高いレベルのサッカーを直接見せていただいたことを感謝するとともに、今後の川崎市のサッカーの発展のために大いに役立てていきたいと思う。



鳥取国体開会式に参加して

川崎市ハンドボール協会
理事長 河田 英彦

10月20日、前夜からの雨も上がり、天皇陛下をお迎えして、鳥取国体（わかとり国体）開会式が布勢総合運動競技場で行われた。

開会式の儀式に先立ち、集団演技が行われた。これは、郷土芸能を中心としたもので、“米子がいな太鼓”“貝がら節”“因幡の傘踊り”が披露された。これらを鑑賞して、鳥取県の素朴の中にも力強さ、あでやかさを感じた。

郷土芸能の後、役員選手団の入場が始まった。各県から選ばれた国体選手のりりしい面持ち、均整のとれた体格、足並みを合わせ胸をはっての行進を直接見て、国体選手としてのプライドが感じられた。特に、カモメをデザインしたユニフォームの神奈川県選手団が入場してきた時は、興奮し、胸の高まりを抑えることができなかった。その中に本校の生徒を見つけた時、普段の練習の成果を発揮してがんばれ、と声をかけたい衝動にかられた。

選手団の入場後、国体旗引継ぎ、大会旗・炬火が入場した。若い男女が並列してトラックを一周する間、観衆の目は二人に注がれ、点火されるのを待った。炬火が点火された瞬間、競技場のムードは最高潮に達し、国体がまさに始まったという感慨を覚えた。

開会式の式典が終わった後、明日へ向かってはばたこうのテーマのもとに、集団演技の“ザ・マーチングスピリット”“空に落書きかきたいな”“飛翔”が行われた。特に幼稚園児、保育園児2,100名で行われた“空に落書きかきたいな”は、かわいいの一言につきる。風船を手からはなす箇所、風船がもったいなく、しっかりと握りしめ、先生から逃げまわっている光景は、あどけなさが感じられた。

開会式全体を通して、鳥取県民が一九となって国体を盛り上げていることを強く感じた。

このような立派な国体開会式に参加の機会を与えてくれた市体協に感謝する次第である。

チャンスを見つけ 大いに参加!!

テニス教室開かれる

数少ないテニス教室が今年も10月10日、11月3日に富士見コートで行われました。タイトルは、参加した方々の率直なご意見を参考にしました。

10月10日 体育の日は、富士見コート、大師コートでジュニアクラスも開き、総勢百余名の参加をみるほどの大盛況でした。

11月3日市民まつりのテニス教室は、富士見コート7面に140名の方々の参加を得、盛大に開催されました。まったくの初心者の方も参加でき、クラスも多く好評でした。

年2回のテニス教室に対し、回数を増やして頂きたいとの多くの声が聞かれ、老若男女を問わず参加者の皆さんのスポーツに対する気概と、開催の意義深さを感じました。また数多くのチャンスを設けたいと思います。

来年もこのような教室を開催し、多くの市民の皆様の参加をいただけますよう努めたいと思います。



10月10日体育の日記念行事

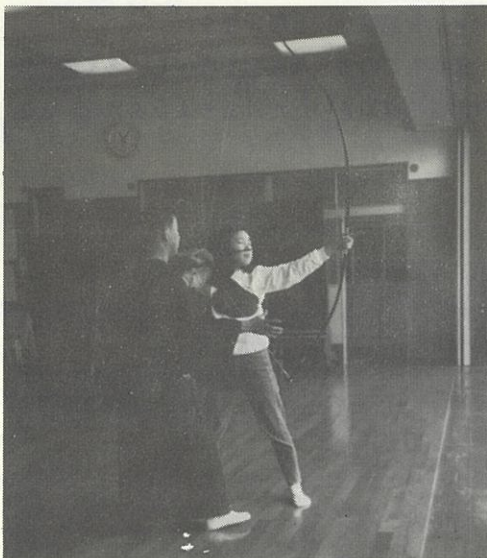
スポーツ、レクリエーションの集い — 盛会裡に終了! —

川崎市教育委員会・川崎市体育協会・川崎市体育指導委員連絡協議会・川崎市レクリエーション連盟共催の体育の日記念行事「スポーツ・レクリエーションの集い」は、秋晴れのもと、中原区の等々力緑地公園を中心に、富士見公園、大師公園、川崎市体育館、幸スポーツセンター、石川記念武道館で盛大に展開され、約15,000名の市民が参加した。

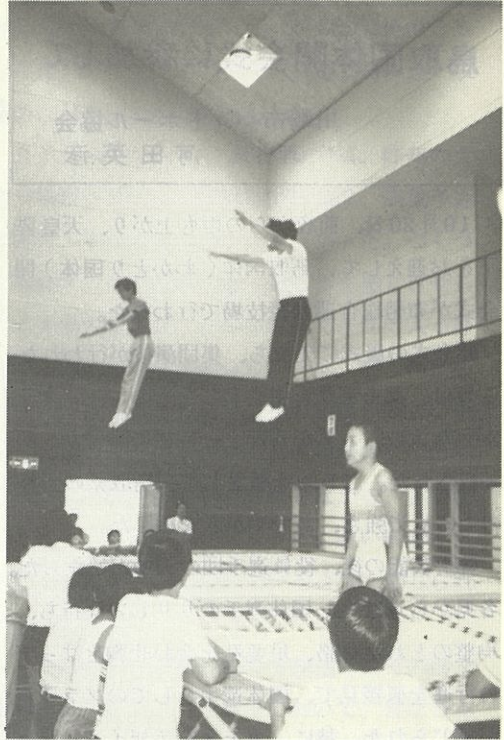
◆ ◆ 各会場から ◆ ◆



石川記念武道館 (なぎなた教室)



富士見公園 (弓道教室)



幸スポーツセンター (トランポリ)



等々力緑地公園 (軟式庭球教室)



富士見公園 (少年相撲教室)

昭和60年度 第二種水泳指導員養成講習会開催

川崎市水泳協会が、県水泳連盟から検定委員を招いて実施している第二種の水泳指導員検定も今年で4回目を迎えました。今年、11月の3日、10日、17日の3日間にわたって富士通プールで実施され、男女合わせて55人が検定を受けました。

指導員は、水泳連盟が水泳の普及・発展のため各種の水泳事業に協力することを目的として資格認定をするものです。第二種の指導員は、「水泳指導に関する基礎知識及び技能を有し、初級者の水泳指導ならびに管理ができる」ということとなります。

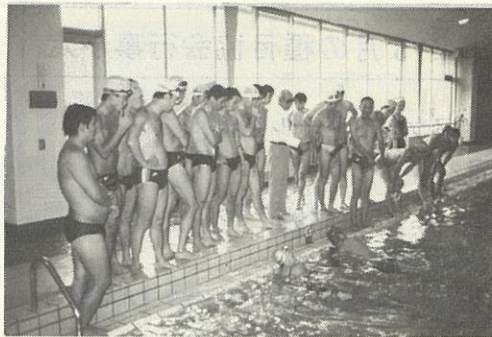
検定内容は、学科と実技にわかれています。

学科の方は、指導者の心得、初心者の方の指導法、施設や用具の管理、水泳と保健などの内容について講義と試験が行われます。

実技の方は、100m個人メドレー、横泳ぎ、潜行、人口呼吸法がその内容です。

個人メドレーは、バタフライ、背泳、平泳ぎ、クロールの4泳法を25mずつ続けて泳ぐこととなります。これには男が1分40秒、女が1分50秒以内という制限があります。泳ぎにはかなり自信のある人でも次の横泳ぎの20mを12あたり以内、しかも泳法をきびしく判定するため毎回最難関となっているようです。潜行は男が20m、女が15mという規定になっています。人口呼吸法は、呼吸吹き込み法の実習があります。

川崎市は、成績がよく高い合格率を示しています。今年、男15名、女15名の合わせて30名が合格しました。すでに100名をこえる第二種の指導員がいるわけです。水泳は、かなり幅広い年齢にわたって続けることのできる全身スポーツとして今後ますます多くの人の間に広がっていくことと思われます。指導員の方々のこれからの活発な活動に期待したいと思います。



— 第36回 — 神奈川県総合体育大会 川崎市第5位に

第36回神奈川県総合体育大会は、9月29日(日)県立体育センターを中心に開催された秋季大会の終了をもって幕を閉じた。

前回4年ぶり総合優勝を果たした川崎市は、各種目にわたり健闘したが、ソフトボール競技の棄権が大きくひびき5位に甘んじた。

1. 総合成績

第1位	横浜市	319.5 点
第2位	小田原市	271.5 点
第3位	平塚市	268 点
第4位	藤沢市	259 点
第5位	川崎市	257.5 点
第6位	相模原市	256.5 点

2. 上位入賞種目

○ 冬季大会	スキー競技	2 位
○ 夏季大会	軟式庭球	2 位
	水泳競技	男子優勝
○ 秋季大会	サッカー	ブロック優勝
	バスケットボール	ブロック優勝
	卓球	2 位
	バドミントン	2 位



1・2・3月の種目協会行事予定

(バスケットボール協会)

2月23日～3月23日

男女一般選手権大会 市体育館

(卓球協会)

1月26日 川崎卓球選手権大会 市体育館

3月2日 市長杯団体対抗大会 //

(テニス協会)

1月18日・19日

クラブ対抗トーナメント 各クラブ

(剣道連盟)

2月11日 第20回建国記念大会 消防総合訓練場

(弓道連盟)

1月15日 新年射初め弓道大会 市営弓道場

2月16日 2月々例弓道大会 //

3月16日 3月々例弓道大会 //

(山岳協会)

3月下旬 春の市民ハイキング 箱根明神岳

(スキー協会)

1月11日～15日

市民スキー教室 蔵王温泉スキー場

2月14日～16日

市民スキー大会 信濃平スキー場

3月27日～30日

親子スキー教室 車山高原スキー場

(スケート協会)

2月22日 市民スケート大会

(サッカー協会)

1月～2月

ジュニア大会 市内中学校

1月12日～3月9日

協会長杯大会 等々力サッカー場他

(少林寺拳法協会)

2月9日 定例昇級考試 石川記念武道館

(ハンドボール協会)

2月2日・9日・11日

室内大会 市体育館他

川崎市体育館開設30周年

記念行事開催のお知らせ

当体育館は、昭和31年2月、市民の多目的催し場として「川崎市民会館」の名称で開設し、昭和47年4月1日「川崎市体育館」と名称を改め、以後、体育振興の場として市民に広く親しまれ、ここに開設30周年を迎えるにいたりました。

これを記念して、昭和61年2月9日(日)午前11時からバスケットボール日本リーグ川崎大会を開催いたします。

試合時間、対戦相手は次のとおり。

●午前11時から午後0時40分まで

女子 重工長崎 対 三菱電機

●午後0時40分から午後2時20分まで

女子 日本通運 対 東芝

●午後2時20分から午後4時まで

男子 日本鋼管 対 東芝

入場料その他の問い合わせ

川崎市体育館

TEL 044-200-3255



＝ 編集後記 ＝

新年明けましておめでとうございます。

60年代に入って、社会の高度情報化は加速度的に進み、人間の身体的活動の機会はますます減少していく傾向にあります。このような状況下で体育協会は、多様化する社会情勢にこたえるべく地域のスポーツの発展に貢献してきています。体育協会の一層の充実発展に向けて私共広報委員一同頑張りますので、関係の皆様のご協力とご支援の程よろしく申し上げます。